



UXデザイン研究室

UX Design Lab.

益岡 了

MASUOKA, Ryo / Professor

Experiencing "rain" — 雨を感じる空間体験の提案 —

Experiencing rain : Proposal of space for experiencing feelings of rain

雨が好きで、雨が降ると雨を見る。窓を開けて眺める。
雨の音を聞いて、雨の匂いをかぐ。

雨の日には「エンドルフィン」が分泌されやすく、いつもより感性が冴え、ゆったりした幸福感を得やすく、雨には人の気持ちを変化させる力があると言われている。

全身に雨を感じるような体験を、人は浴室や自然の流水に求める。それは身体のリフレッシュだけでなく、心の解放を求めているのかもしれない。

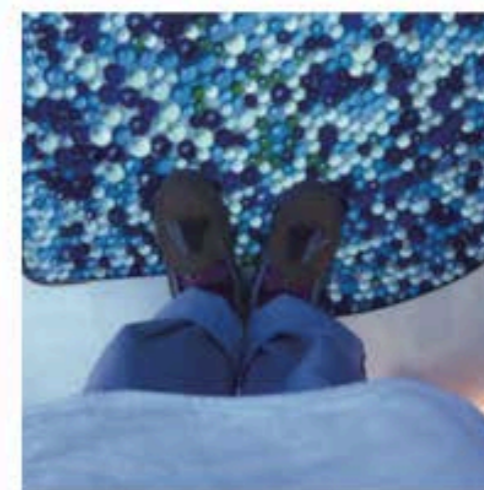
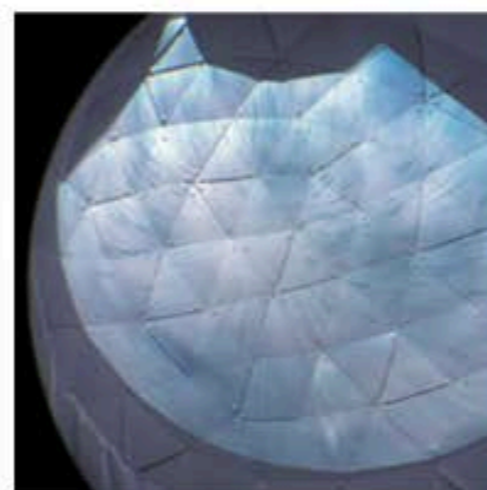
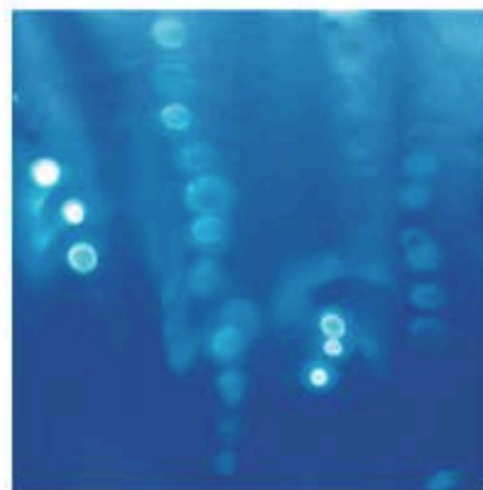
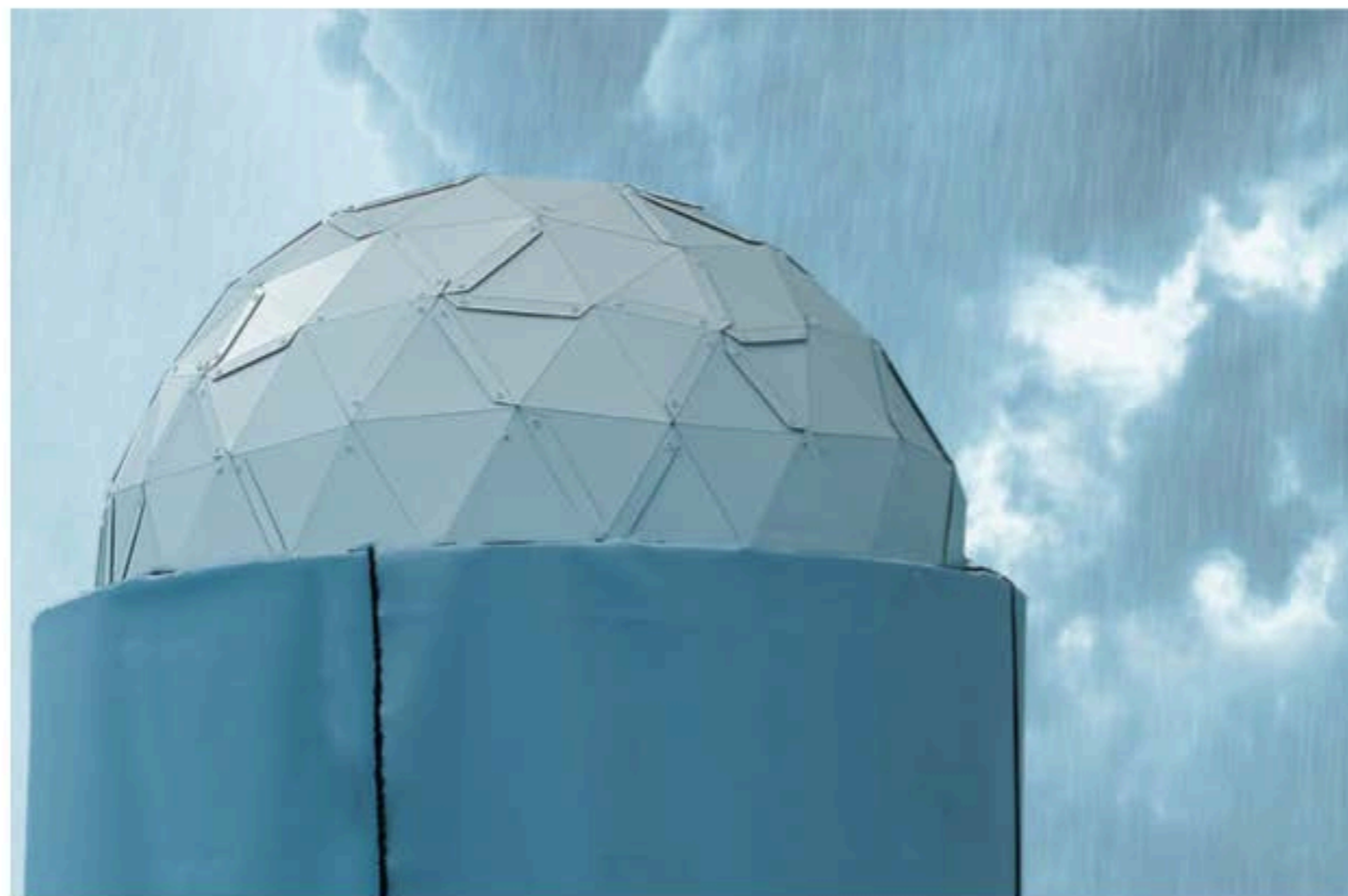
しかしそんな感覚を身体を濡らすことなく室内で感じられる不思議な時間を創り出すこと、水ではなく光や音などいくつかの感覚を組み合わせることで気象の変化を感じさせる32秒間の非日常を作り出した。

私たちは同じ時間と景色でも感じるものはそれぞれ違うだろう。

あなたはこの32秒間の体験に一体なにを感じるのだろうか。



新井 空
ARAI, Sora



店舗看板のデザイン提案

Design proposal for indoor store signage

カフェでくつろぎの時間を過ごしながらか季節や行事を感じられる。

飾りつけ一つで店舗の雰囲気や物販商品の見栄えが良くなり、数多くのお客様や常連の方にまた行きたいと思ってもらえることが目標である。

手書き感・手作り感あるポップな見た目から店舗の優しい空気感にぴったり。時々お客様から頂く「かわいい」「すごい」の言葉が嬉しい。

春夏秋冬、毎年やってくる正月・バレンタイン・ハロウィン・クリスマスといった行事で家族や友達へプレゼントを贈ってみませんか？。



稲田 溪太
INADA, Keita



O・SaLa — 形状記憶フィラメントを用いたテーブルウェアのデザイン提案 —

O・SaLa : Proposal of tableware design using shape memory filament

「このお皿がもう少し深かったら」「もう少し丸かったら」などと考えたことはありませんか。料理に合ったお皿を「選ぶ」のではなく、「作る」ことができれば食事の楽しみは大きく広がると考えました。

「形状記憶フィラメント」という新素材を用いることで実現します。この素材は55度に温めることで自由に形状を変えることができます。

また、お皿として使わない時でも、折り紙のようにその形を楽しむことができると考えました。

折り紙は一枚の紙を「折る」「曲げる」を繰り返すことで形状を作り出します。それらを応用することで形状が変化するお皿を提案します。

普段はオブジェとして折り曲げた状態で飾り、食事の際には変形させることでオリジナルの食器になります。結婚式の時や赤ちゃんの時に使っていたお皿をオブジェとして身近なところに置いて、思い出を飾るような使い方も可能です。

自身で形作るお皿と、思い出を共有できるよう、デザインしました。



大地 純加

OCHI, Sumika



S.F Base — 柔軟に使えるエレクトリックベースのデザイン提案 —

S.F Bass : Slim, flexible electric bass design



「置き場所がない」「持ち運びが大変」などエレクトリックベースを持つ人なら一度は思ったことがあるでしょう。

加えて昨今の自粛生活において、楽器の需要は高まっています。

そこで私は、練習に使うことをメインとしたエレクトリックベースのデザインを提案します。

従来のベースはボディが大きく重量もかさみました。そこでステージで使わないことを前提として、機能的に必要な部分だけを削り、よりコンパクトなモデルにしました。

また、軽量化とデタッチャブルなパーツ使用にも留意し、長時間の練習にも向いています。

ボディ材にはマホガニーを使用しており、木目を目立たせたオイル塗装になっています。

部屋のインテリアに溶け込むオブジェのようなデザインを目指しました。

生活の一部にこんな楽器はいかがでしょうか。

大道 晃生

OMICHI, Akio



複合アクアリウムのデザイン提案 — 観葉植物とアクアリウムの融合によるリラクゼーション —

Design proposal for composite aquarium : Relaxation through fusion of houseplants and aquarium

森林浴や山の中をハイキングしていると、心が安らいだり、落ち着いた気持ちになれたという経験がある人は多いのではないのでしょうか。

家に籠る機会が多くなってしまったそんな時代だからこそ生活に自然が必要です。

アクリル板で水槽を自作し、レイアウトをデザインしましたアクアリウムと植物の複合した水槽を制作しました。

自然の風景を取り入れることで、癒やしを感じたり、子どもが生き物に触れるきっかけになったり。インテリアとして楽しむなど、その魅力はさまざまです。

植物には蒸散作用があり、空気中の湿度を快適な状態に保ってくれたり、植物の持つ緑色は脳にリラックス効果を生み出し、目の疲れを回復させる効果があります。

これは、緑色の視覚的な効果だけではなく、植物が発生させている「フィトンチッド」と呼ばれる香りや、「マイナスイオン」が大きく関係しています

自然が生み出すリラクゼーション効果をお楽しみください。



加藤 徹大
SKATO, Tetsuta



オンラインを通じた個人空間の提案 — 趣味を焦点に —

Proposal of personal space for working online : Focus on your hobby



リモートワークを通じて皆さん自分自身を隠していませんか。

今年はコロナを通じて「リモート・オンライン」と言った言葉をよく聞きました。そんな中、出てくる苦情と例えば「自宅にオンライン環境が整っていない・ONとOFFの境が出来ない」などが多く上げられました。学生の中には「収納スペースが少ない」と言った内容が多く寄せられました。

現在でもオンライン化が続く中で「部屋が殺風景」と言った考えに陥りました。そこで私はオンライン上で自分自身を作り上げる(自身を魅せる)環境の作成を提案としています。平面計画は1200(W):2000(D)程度のデスクワークとして計画します。

柱や壁の塗装は好みにより多種多様な変化を遂げ、正面と背面で変更することも可能としたDIYを中心としたデザイン案となっています。その為1つの答えとするものではなく、あなた自身の色に変色させることが一番の目的です。

甲野 和幸

KONO, Kazuyuki



弾性接着剤を用いた杉成形合板椅子のデザイン提案

Design proposal for cedar molded plywood chair using elastic glue

林野庁による森林・林業白書には、日本の国土は約66%が森林と説明される。

先進国の中では世界有数の森林大国だが、木材自給率は約36%と低い。

木材生産が主な目的である人工林は約9割が針葉樹であり、国産針葉樹材は比較的豊富であるが、その用途は建築構造や内装などの用途に限られる。

そこで国産材の自給率向上を目指し、針葉樹材を用いた椅子のデザインを提案する。

しかし強度が比較的低い針葉樹材を用いて椅子を製作するには新しい構造や加工方法が必要である。

そこで針葉樹突板を弾性樹脂で積層することでクッション性を生み出す「やわらかい木」を実現する木材加工技術に注目した。

「やわらかい木」を利用することで針葉樹の特性を活かした和室に合う一人掛けソファを提案する。



恒石 隆佑

TSUNEISHI, Ryusuke



季節を感じる和菓子をモチーフにしたプロダクトデザインの提案

Proposal of product design with motif of Japanese sweets that make people feel seasons



古来から日本では、独自の季節に合わせた食事や装い、祭事などが行われてきました。しかし現代の生活では、文明の発達により、季節に合わせた建具に代えることや、食事の多様化による季節に合わせた食事などの習慣が失われつつあります。失われつつある習慣の中には文化的な伝統や、古来から守られてきた独自の美しさも含まれます。そこに着目し、伝統の一つである和菓子のデザインを活かした季節を感じられるプロダクトデザインを提案します。二十四節気の和菓子をいくつか取り上げ、自身と同年代の若い女性をターゲットに普段の生活に溶け込み、生活空間に彩りを与えるプロダクトを目指しました。

中島 萌希

NAKAJIMA, Moegi



PLAY LIVE — 感染症に対応した新しい演劇デザイン —

PLAY LIVE : New theatrical designs to address infectious diseases

近年、新型コロナウイルス感染症による感染拡大により、我々の生活は一変しました。その影響で、現在も多くのイベント、フェスなどのエンターテインメント業界も減衰しています。そこで私は、コロナのような感染症に対応した舞台演劇を実際に検証することで、今までにない「新しい舞台演劇」の可能性を提案します。

私が提案する「新しい舞台演劇」では主に

- ・演出面
- ・観客面

の2点に重点を置きました。

「演出面」の主な対策

小道具として使用するぬいぐるみには、“演者同士が近距離だと光るセンサー”を搭載してあります。演者が子供時の役を演じている時に、距離間が近くなってしまいやすいため、常時持たせ接触を避けました。

「観客面」の主な対策

完全予約制で行い、公演当日の受付場所には、消毒・検温・案内板などを設置しました。常翔ホールでの最大席数も1公演40席と制限し、客席間も余裕を持たせ配置しました。

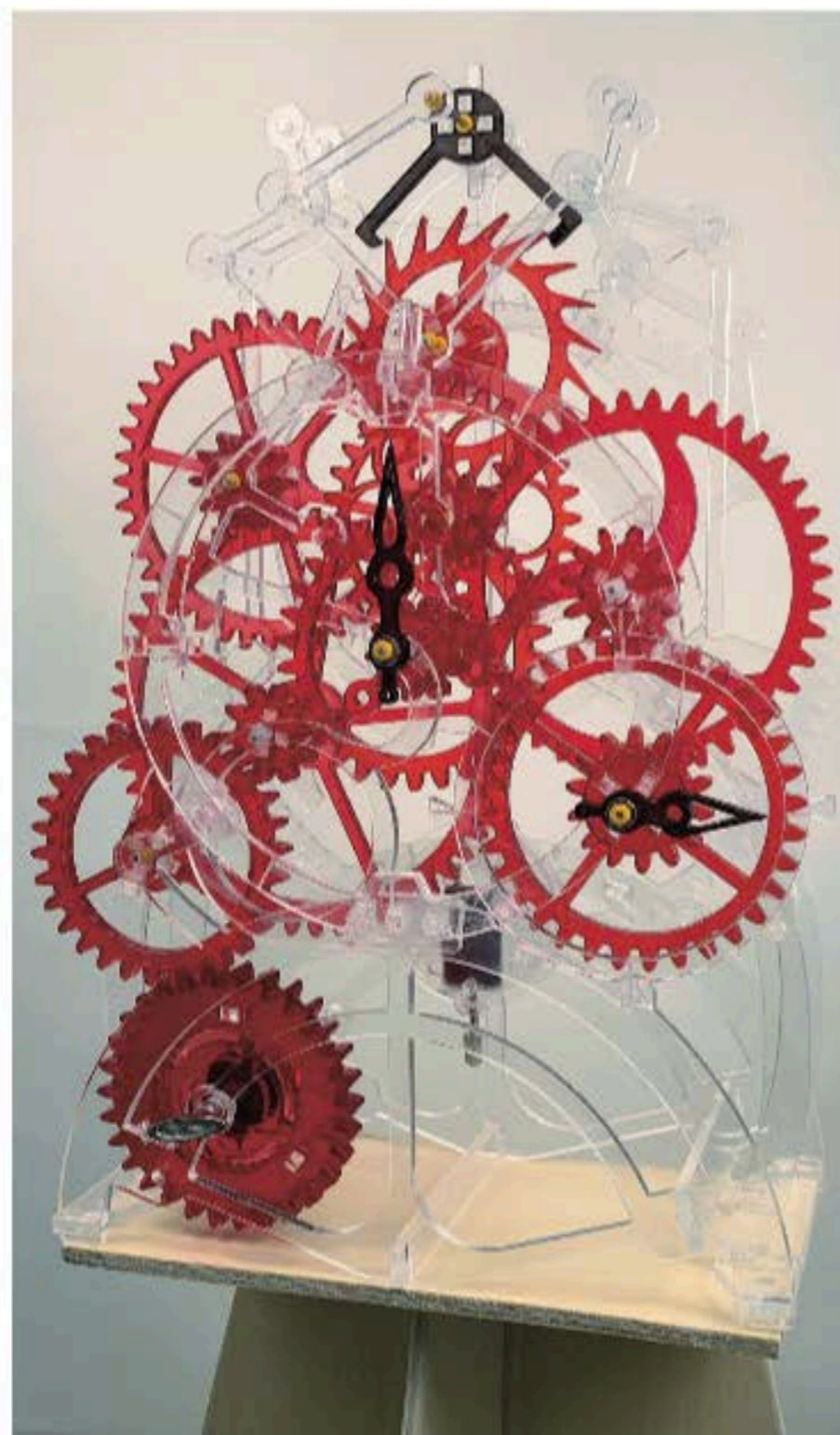


宮崎 涼

MIYAZAKI, Suzumi

機械仕掛けの魅力を表現した機器デザインの提案

Proposal of equipment design that expresses attractiveness of Automation mechanical device



からくりとは日本における古い時代の機械的仕組みのことを指します。からくりは技術と工芸と美術の融合として、娯楽の世界で活躍しました。

この発展には西洋から入ってきた機械時計の影響が大きく、歯車などの技術を利用し、からくりの動力へと応用しました。それらが祭事や縁日などの見世物として大衆の目に触れることで日本各地にからくりが知られるようになりました。その技術への好奇心が明治維新以降の我が国の科学技術の発展に影響したともいわれます。

現代にからくりの魅力を伝える、その可能性を追求するために従来の素材に囚われず、その構造を視覚化し易いアクリル樹脂を用いました。そして科学文明を象徴する万国博覧会の記念オブジェをモチーフに全体のフォルムを構成しました。

山中 源太

YAMANAKA, Genta

